

観光／専門科目

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
112BK01	観光学概論 A	観光学入門	高柳 直弥	1 年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	ニューツーリズム、産業観光、観光立国		
ディプロマポリシーとの対応	2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前受講するとよい科目	特になし				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	人が国境を越えて自由に移動することは、政治的・経済的・文化的に様々な影響を及ぼすため、日本をはじめとする各国においても外国人の来訪を促進しています。本講義では、観光と文化・社会との関わり、並びに現在の観光産業が直面する諸問題を考察していきます。				
到達目標	観光・旅行業、関連産業に進む予定の学生の基礎教養を養う。具体的には、現代観光の動向を把握し、観光形態や旅行者、生活者の意識の変化について理解し、説明できるようになる。				
講義内容	観光は、21 世紀の基幹産業といわれています。本講義では、歴史・理論・政策等の視点から観光に迫ります。特に観光に関する基礎理解を深め、将来の仕事に活かせるよう配慮します。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	観光を学ぶとは (1)	オリエンテーションと観光の定義		
	第2講	観光を学ぶとは (2)	観光資源・観光施設・観光媒体		
	第3講	観光を学ぶとは (3)	旅の形式		
	第4講	旅と観光の歴史 (1)	近代の日本の観光		
	第5講	旅と観光の歴史 (2)	戦後の日本の観光		
	第6講	旅と観光の歴史 (3)	世界の観光の歴史		
	第7講	観光と政策 (1)	観光に関する日本の政策		
	第8講	観光と政策 (2)	観光立国とは		
	第9講	観光と文化	観光における多文化理解		
	第10講	観光と航空業界 (1)	航空業界の概要と観光における役割		
	第11講	観光と航空業界 (2)	航空業のマネジメント		
	第12講	観光と鉄道 (1)	観光における鉄道の役割とは		
	第13講	観光と鉄道 (2)	鉄道事業の経営について		
	第14講	観光と宿泊業 (1)	ホテルの歴史と機能		
	第15講	観光と宿泊業 (2)	宿泊業に関連する法整備		
指導方法	観光を体系的に把握、理解します。副次的に新聞やテレビ番組等よりトピックを取り上げて、観光と経済の関連と、その波及効果について解説し、理解を深めます。なお、受講生の人数や関心、理解度に応じて計画を若干変更する場合があります。積極的に学ぶ意欲のある人を歓迎します。				
事前学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。1 時間 30 分程度の学習時間が目安である。				
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。1 時間 30 分程度の学習時間が目安である。				
成績評価方法	【平常点】(小テスト：50%、授業内課題：10%)、【本試験】(レポート)：40%。				
課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法	授業の冒頭で解説をする。				
テキスト	中島智・高柳直弥・片山明久編著『現代の観光を学ぶ―地域創生に向けて― (第2版)』八千代出版 2025 年、ISBN 978-4-8429-1884-6				
参考文献	高柳 直弥・太田 実・中島 智編『新時代の観光を学ぶ』八千代出版、2019 年				
実務家教員による授業	教員	経歴			
特記事項	小テストは合計 3 回実施予定です				